

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成26年5月16日（金）
 現地視察後 全員協議会室
 9時00分～12時30分

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長

串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】 江角議員、西村議員、澁谷議員、野藤議員、小川議員

【議 長】 原田

【執行部】

（産業経済部） 中村産業経済部長、田村産業経済部次長（兼産業政策課長）、竹中産業振興課長、

佐々本広島開拓室長、川神農林振興課長（併農委事務局長）、吉田水産振興課長、石田漁港活性化室長、栗栖観光交流課長、倉井産業企画係長

（都市建設部） 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長（兼建設企画課長）、吉田建設整備課長、宮下地籍調査室長、岡本維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室長、藤井庶務係長

（金城支所） 吉永金城支所長（兼金城支所建設課長）、芹原金城支所産業課長

（旭支所） 岩谷旭支所長、田村旭支所産業課長、塚田旭支所建設課長

（弥栄支所） 田中弥栄支所長、岡本弥栄支所産業課長（兼弥栄支所建設課長）

（三隅支所） 横田三隅支所長、岡田三隅支所産業課長（兼三隅支所建設課長）

【事務局】 小川書記

議 題

1. 執行部報告事項

（1）平成27年度国県重点要望事項について

（2）萩・石見空港の状況について

（3）漁業別水揚について

（4）市道路線等の現地視察について

（5）浜田駅北地区の土地取得について

（6）その他

2. その他

【議事の経過】

[9 時 00 分 開議]

布施委員長

皆さんおはようございます。ただいま出席議員は6名でこの場では1名欠席、牛尾博美議員は弥栄で落ち合うことになっている。直ちに本日の調査を開催する。

1. 執行部報告事項

(4) 市道路線等の現地視察について。

それでは委員の皆様へ本日の調査会の流れについてご説明する。配布したレジュメをご覧ください。

本日の調査会では、午前9時から11時、議題1(4)市道路線等の現地視察を資料の後ろに付けているが、現地視察行程表のとおり行い、市役所に戻って、全員協議会室において調査会を再開するが、再開の前にこの4月の人事異動で、昇任・新任となった管理職の方々から簡単にご挨拶いただく。再開後、レジュメのとおり現地視察を除く4件について報告・説明を受ける予定。また、報告事項6番目のその他として、現段階で執行部から何点かお知らせ等させて欲しいとの連絡があったのでよろしく願います。

以上だが、委員から何か質問は。

(「なし」という声あり)

書記からは。

特になし。

ではこのまま現地へ向かうので、よろしく願います。

小川次長

布施委員長

【 現地視察 9 : 00 ~ 10 : 45 休憩 】

[11 時 04 分 再開]

1. 執行部報告事項

(1) 平成27年度国県重点要望事項について

布施委員長

平成27年度国県重点要望事項について、執行部から順次説明をお願いする。都市建設部次長。

都市建設部次長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

三隅支所産業課長。

三隅支所産業課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

農林振興課長。

農林振興課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

都市建設部次長。

都市建設部次長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

委員から質問は。

(「なし」という声あり)

無いようなので次へ。

(2) 萩・石見空港の状況について

産業経済部次長
布施委員長
牛尾昭副委員長

萩・石見空港の状況について、産業経済部次長。

(以下、資料をもとに説明)

委員から質問は、副委員長。

僕は広報広聴委員会に所属しており4月の出張は往復とも萩・石見空港を使ったのだが、伸びてない現状。この間ある会議では、旅行社の関係者が利用拡大促進協議会を外れたと。協議会がうまく機能していないから外れたというようなことを言っている旅行代理店もある。どうもよく見えてこないのだが、12万人を目標にして、達しない場合はペナルティが関係市町村に下される。協議会がちゃんと機能していないのではないか。むしろそこに入っているよりもそうでない方がメリットがあるというようなことを言っている旅行代理店もある。実態がどうもよく見えてこない。今どうなっているのか。ただ補助を出せば人が乗るというわけではない。例えば旅行パックの計画であるとか色んなことがあると思うが、その辺の実態をどの程度、所管部署として把握されているのか。

布施委員長
産業経済部長

産業経済部長。

旅行会社が促進協議会から外れた云々というところについては、私も具体的な実態をうかがっていないので、その点をご容赦願いたい。現在、島根県と益田市を中心に利用拡大の促進協議会は構成されている。その周辺市町村である浜田市と萩市、津和野町、吉賀町といったところが、地方公共団体としてはその団体に加盟させていただいている。それと、イン対策アウト対策については、アウト対策はやはり地元企業に使っていただく。先程次長が申したように、職員の派遣も萩市・浜田市・益田市を始め、全力でこれを使おうということになっている。イン対策については、副委員長ご指摘の、旅行者とタイアップしたような作戦を取らないと必ず実現しない。これについてはイン対策というところで旅行会社に旅行商品を造成してもらおう。それを東京の方でPRしていく。これは島根県の東京事務所も全力で行っていただくことになっている。そうやって観光客誘致に繋げていく。議員ご指摘の部分もあったのだが、旅行会社、今の助成といったものは結局、これから将来ずっと長続きしてそういった助成ができるかということは想定できないので、やはり来ていただくためにはこちらの魅力を作り上げていくというところで、今島根県にもお願いさせていただいているし、萩・石見空港の2便化の利用拡大に向けて、県西部において魅力づくりといった面でも全力で、こちらは西部県民センターとも連携してやっていかなければいけないと考えている。

布施委員長
牛尾昭副委員長
布施委員長
産業経済部次長

副委員長。

4月も最低の数字みたいだが5月はどんな数字なのか。分かる範囲で。

産業経済部次長。

5月の状況について、5月11日現在の実績となるが、これには当然予約も含めてのことだが、5月は現在のところ全体で39.4パーセントの搭乗率となっている。4月から始まってだんだん温かくなってくると観光等

で訪れる方も多くなって、11月までの間で一番利用者が増えてくるので、今からが期待される期間ではないかと思っている。

布施委員長
笹田委員

他に。笹田委員。

資料を見ると、目標12万人というのは平成9、10年に2度越えているということで、去年は搭乗率が60.8パーセントで7万4千人程度。12万人というのは相当高いハードルですごい目標だと思うのだが、今回の搭乗率が37.2パーセントで、先程の答弁の中で今月が39.4パーセント。少し上がっているのだが、やはり夏休み、冬休み、時期によって搭乗率が変わってくると思うのだが、各月の目標とか見込み人数とか、1月に1万人乗れば12万人達成するがそういうわけにいかないと思うので、細かな目標が設定されているのならお示しいただきたい。

布施委員長
産業経済部次長

産業経済部次長。

細かい月々単位の目標というのは協議会事務局では把握されて、それに沿った助成事業プラン等を立てて取り組んでおられると思う。手元には資料を持っていないが、先程も言ったようにこれから秋にかけて行楽シーズンを迎えるし、夏休み等も迎える。その辺が利用率が高まる時期ということで、力を入れて取り組んでいこうということをやっているところである。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

協議会でそういう数字を把握されているというのであれば、先程牛尾昭委員からも話があったようにペナルティが発生するのであれば、浜田市も一緒になって本気で考えていかねばいけないと思う。その中で、そういう課題というか目標値が見えない中でこういうのを示されても、ではどこまで何パーセント乗れば良いのか見えないので質問させてもらった。ペナルティのお金を払うのであれば、地元にも利用してもらうために補助金を出した方が、もっともっと活性化していくと個人的には考えたので。月々の目標に達成するために何をしたら良いかという施策を考えないと、11月になったら人が増えるという安易な考えだと、また同じことの繰り返しだと思ったので言わせていただいた。それについてご意見があれば。

布施委員長
産業経済部次長

産業経済部次長。

目標12万人を掲げている。言われるとおりに、これを達成するためには至難の業だと思っている。その場合、搭乗率58パーセントということになる。非常に高い目標ということになる。これを実現するためには、浜田市においても単独での快適アクセス事業の導入、JR乗車券の補助、あるいはタクシー補助といったようなものも今事業をやっているので、その辺のPRもしっかりやっていき、また、助成事業にも、企業向け・学生向け、色々あると思うが、それぞれ対象者に応じたチラシ等も作って訪問もしながら、利用促進に努めてまいりたいと思っている。

布施委員長
西田委員

その他委員から。西田委員。

部長の答弁をお聞きしながら思い出したことがあった。昨年、知人が東京に行った時に電話がかかってきて、東京の色々な旅行関係のパンフレットやチラシがたくさんあるところへ行った時に、確かに出雲部はたくさん旅行会社のパンフレットがずらっとものすごくあったと。鳥取

県も広島県も山口県もパンフレットがずらっとあったけども、島根県は出雲部のパンフレットしか無かったと。石見部のパンフレットが1枚も無いと、その場から電話があった。先程から部長も、石見の魅力づくりと言われるが、自治体はずっと前から何かの魅力づくりをそれぞれ考えてやってきているわけだが、こういう協議会もあって、ふわっと魅力をつくるのではなく、具体的に各石見地域のそれぞれあるものを全て結集した、何かもっと具体的なもので石見部を売り込むことを、全体で連携することをもっとやらなければいけないとすごく思った。ただ、魅力を作らなければいけないとか、数字はただ数字合わせで何パーセントに搭乗率を持っていかなければいけない、それも大事だけど、まずはもっと石見に来やすいような具体的な環境づくりをしていくことが優先ではないかと思った。

布施委員長
産業経済部長

産業経済部長。

議員ご指摘のとおり。今現在、旅行業者、また東京沿線の方々からもそういったご意見がうちに入っている。旅行が、団体から個人、ファミリーになっている。それと1人で体験型であるとか、そういった楽しみがまた多様化してきていると。そういったニーズに対してきちんと答えていくような体制、またルートづくり、そういったものも作っていかねばいけないということで。浜田市が全力で後ほど観光交流からご説明があると思うが、件名にもお宝ということもやっており、それも石見全体の萩・石見空港2便化、これは2便化に向けてだが、JRや飛行機、何でもこちらに来ていただく、交流人口の増加に役立てていくと考えているところである。

布施委員長
牛尾昭副委員長

副委員長。

聞き漏らしたのうかがいたい。この間新聞に、横浜のマルエツというスーパーで浜田産品の販売をしたという記事が載っていて、非常に良いことだと思っているが、職員を送られたということで、例えばああいふ場合に、浜田の観光パンフレットを併せてそこで配布するというようなこと、当然おやりになっているだろうと思うのだけど、そういうふうに認識してよろしいか。

布施委員長
産業経済部長

産業経済部長。

新聞に出たのが1つの商店でも、私どもも今までの成果、これは企業さんの努力の賜物だが、そういった場合にうちの方では今、法被やのぼりといった物は全部用意するし、状況に応じて浜田市のパンフレット類も持っていく。魚でいくと山陰浜田港ということでやっているが、浜田の知名度をアップするために職員も行った時には全力で取り組んでいる。

布施委員長

他に。

(「なし」という声あり)

ないようなので次へ。

(3) 漁業別水揚について

水産振興課長
布施委員長

漁業別水揚について、水産振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

委員から質問は。串崎委員。

串崎委員

良いスタートを切っておられると感じる。昨年52億円ぐらいだと聞いているが、先程も言っておられたが、100億円に対して今年はどこまでの目標か。どこまでやるのか。

布施委員長
水産振興課長

水産振興課長。

10年後に100億円を目指してということで、市長がロードマップを発表している。そこには具体的な年度の目標数値は上げていない。ただ増やしていかなければいけないと。私どもで考えている数値はあるが、それはまだ公にする段階ではないので、ご了解いただければと思う。おかげさまで4月までのところで昨年よりは3億2千万円増えているので、今の段階では目標クリアしているのかなと私どもで考えている。

布施委員長
串崎委員

串崎委員。

分かったが、大切なことなので一応目標は設定されて、皆さんにお示しすることも大事だと思う。大変良い資料だと思っているが、私が思うに、昨年の4月からずっと12ヶ月の実績を横にずらっと並べて、月の目標を下に書いて、その下に細かな実績を書くと。そして今回は調子が良いわけだが、先になって目標に足らなかった時には、現状はどうだろうかという分析もできないと思うので、そういうふうにごくばらんな、市長が本気でやっておられるのに、ちょっとどうかなと私は考える。資料も先程言いましたように、そういうものを出していただくと喜ぶので要望する。

布施委員長
水産振興課長

水産振興課長。

月別の目標等々を載せるということ、大変良いことだと私も思う。ただ、魚の水揚げというのはなかなか気候や環境条件によって非常にずれが生じてくる。非常に難しいところがあり、工場製品みたいな管理の仕方は難しい面がある。ただ、10年後の100億円という目標は決まっている。それを達成するために今現在、各方面と協議を進めて、具体的な基本方針や計画を決めていこうと思う。その計画が決まると、金額的にお示しできるのではないかと現段階では考えているので、大変申し訳ないがそれまではしばらくご容赦とご理解をお願いしたい。

布施委員長
笹田委員

その他。笹田委員。

私も串崎委員と同じようなことを言おうとした。この表を見る限り、昨年が一番最低な価格の中で上がって喜んでいる場合じゃないと、個人的には思っている。平成2年が一番マックスな水揚げだったと思う。船の数も海の状況もその時とは全然違うが、せめてその時の状況をここに載せてもらえると、これだけまだ差があるのだとか理解しやすいと思う。マックスじゃなくて良いので100億円に近いところの過去の水揚げを月単位で示すことは、僕は可能だと思うので、そこへちょっと載せてもらった方が我々としてはまだ、一喜一憂するには難しいと思うので、やっていただきたいと思うが、それについて。

布施委員長
水産振興課長

産水産振興課長。

平成2年に100億円を超えたのがピークである。今現在、昨年が52億円。約半分ということで、もちろん私どもも、昨年よりは良いということはあるが、喜んでいるということではなく、漁港活性化室という室も内室で作っていただいた。今現在動いているところ。先程おっしゃられた、

表示の仕方についてはちょっと検討させていただければと思う。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

是非ともお願いしたい。先程課長からも話があったが、今回新たに、水産課に漁港活性化室というのが出来て、先程石田室長さんが挨拶されたが、我々はまだ見えないと言うか。水産課でどういう役割分担をして、どういった形で水産化を活性化させていくのか見えないので、室の在り方というか、役割分担等をちょっと話してもらえれば理解しやすいと思うのだが。委員長いかがか。

布施委員長
水産振興課長

していただけるか。水産振興課長。

昨年までは水産課ということで、1課でやっていた。今、浜田漁港をいかにして活性化するか、100億円目指すかという部分、特化した部分については、漁港活性化室を中心として、もちろん水産振興課も連携してやるということである。今までやっていた事業については、水産振興課が主体でやっていくということである。ただ、山陰浜田港のPRとかの部分は、どちらかと言うと水産振興課の方でやらせていただければと思っている。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

ではイメージからすると、リシップ事業、諸々等々の漁協に関わる荷捌き場の整備の関係だとかは、その活性化室でやっていって、例えばブランド関係、山陰浜田港だとか、どんちっち関係は水産振興課でやっていくという認識でよろしいか。

布施委員長
水産振興課長

水産振興課長。

そう。ただ、線は引いていないので、一緒になってやっていく。人数も増えたけれどこの業務を進めるにはまだ皆で頑張らないといけないというところで。一応基本的にはそういう分け方である。

布施委員長
牛尾昭副委員長

その他委員から何かあるか。牛尾昭副委員長。

今年は自然条件が良いということで対前年を上回っている。先程から同僚議員の質問があったが、農業と漁業が違うのは、一定面積の作付をすると一定の収益が上がるというのは読めるのだけど、海相手だから非常に読みにくいというので、先程から難しい質問があって担当課は大変だろうなと思うが、逆にそういうことまではっきりおっしゃった方が良いのではと思う。それと、僕が市場を歩いて聞いて思うのは、昨日、はまち2.5キログラムから3.0キログラムが2本入りの競りが660円。ということは1本330円、キロ単価10円ぐらい。何故そんなに安いのかというと、この時期は腹に虫がいるということもあるのだが、今運送形態が変わって、例えばヤマトなら一定の規格以外は積めない。だからブリによっては大きすぎると積めないということもある。それに運送料金も随分上がってきた。なので今、業者さんも東京市場を狙おうと思って商品を送っても、箱代・小売り代・運賃をかけたら買う前から赤字になるという現象があるのだと。それは運賃コストが上がったということなのだろうが、その辺の解決をしてもらわないと、なかなかそれが魚価に反映しないということを皆さん結構おっしゃっている。何が言いたいかというと、100億円に向かって水揚げを上げようという時に、当然もっと高く売れても良いものが売れないという、流通形態とかそういうことによ

って左右されているというところを、工夫して払拭していくという。例えば近回りのマーケットを開拓するとか。そういうことも含めて、考えていかないと。ただ築地からアジだけ送ってくれと言われてアジだけ送ってある程度売り上げが上がるということよりも、単価的に安い魚をもっと高く売るためにどういう方法論があるか。今、流通コストかかりすぎて困っているという声をあちこちから聞く。何とかして欲しいと。東京方面は現在午前中はヤマトだけ。佐川は今やっていない。1社独占だから余計料金を払っているという話も聞く。行政色々応援をしておられるが、流通とかいったことに目が行ってないのではないかという指摘を受ける。行政がどこまでやるかという問題があるが、そこがネックであれば研究をして、だから一部の魚価が安いのだという。今年特に顕著。買わないと言うのだから。この商品を買ってもペイしないから手を出さないという、そういう厳しい現実もあるので、是非その辺を。恐らく情報が入ってないと思うので。是非現状の調査をしていただき、もう少し魚価アップに向けて頑張ってもらいたい。対前年以上に上がっているのは認めるが、そういうところに目を配らないと難しいのではないかと思うので、よろしく願います。

布施委員長
牛尾博美委員

コメントがあるか。ないようなら他に。牛尾博美委員。

これは水揚げとは直接関係ないので、ぜひ取り入れてもらいたいと思う。僕が思うのは、浜田で上がった魚を他所へ送って外貨を稼ぐということは今しきりに言われて、100億円を目指している。でも一番問題なのは、私らがこの浜田に住んでいて浜田のことを知らないし、浜田の魚を食べてないし、浜田の魚がどこに行けば売られているのか。今は魚屋なんかほとんどない。スーパーしか。ゆめタウンに行くと浜田のどんちっちの歌をかけているが、そんなところが浜田に何ヶ所あるのか。私が思うに、これをケーブルの中で、今日の入船、何々丸がアジを何トン獲って大漁だったとか。境港では大漁旗をやっている。ただそういうことで、もうちょっと浜田市民向けのことをやっている、県外市外からも向いてくれる。もうちょっと浜田市民に、もっと浜田漁港の詳細、今日は何々丸が入って巻き網が何網入ってきた、何トン獲れた、恐らく皆様の今日の食卓にはアジの刺身が食べられるとか、そういったもっと身近なものを、これはやはり市民がもっと海の方を向いてくれる大きな要素だと思うし、魚だけでなく浜田のいわゆる商港のことも同じ。今日は韓国のコンテナ船が入ってくる、これは何を何千トン積んでいたとか、今日出港するとか、もうちょっとメディアを使って。一番身近なケーブルテレビを使ってなり、朝夕という形で、本日の水揚げ、アジはなんぼというような、もっと身近な部分をやっていくと、もっともっと色んな意味で、水揚げとは直接関係ないが、私はそういう啓発というかPRがもっと大事だと思う。もし予算が無かったら水産課でケーブルテレビ用の宣伝費を確保して実行するぐらいのことを、地道に市内の中で市民が港の方に向き、浜田の魚を食べる方向に向けていくような地道な努力を、いわゆるメディア、新聞、書き物、様々なメディアを使ってやっていく必要があるような気がするが、いかがか。

布施委員長

水産振興課長。

水産振興課長

議員さんおっしゃること、大変参考になる。実はケーブルテレビの方では、毎月浜田の魚ということで、その月の旬の魚の紹介をさせていただいている。議員さんおっしゃられる、日々のものについては、予算的というよりもケーブルテレビとの調整、連絡体制、その辺があるので、これについては研究させていただければと思う。それから魚のPRについて。浜田の四季のお魚というところで、今年度の事業を議会でも認めさせていただいている。近々、浜田の四季のお魚ということで選定会議を開いて、春夏秋冬の旬の魚を何種類か決める予定にしている。その魚を使って、常時浜田の飲食店でそれが食べられるということを目指して、今取り組んでいるので、ご理解のほどよろしく願います。

布施委員長

他に。

(「なし」という声あり)

ないようなので次へ。

(4) 市道路線等の現地視察について

市道路線等の現地視察については終了しているので次へ。

(5) 浜田駅北地区の土地取得について

建設整備課長

浜田駅北地区の土地取得について、建設整備課長。

布施委員長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員

委員から質問は。笹田委員

今の説明で、1、2はもう買って、3は向こうに売るという考え方か。もしくは3はまた浜田市の物になるのか。

布施委員長

建設整備課長。

建設整備課長

1、2については既に購入済みで、3についてはこれから買う場所。

笹田委員

土地が広くなるということか。

建設整備課長

はい。

布施委員長

他に。牛尾委員。

牛尾博美委員

よくやっていただいたと思う。浜田市の中心地で非常に大切なところだと思うが、これをどのようにこれから買ってやるかという点は。アウトでも良いのでおおよその計画をお持ちか。

布施委員長

都市建設部長。

都市建設部長

今後について、前回も部長が若干触れているが、ここについては道路整備ということで。エディオンの前の道路があるが、この道路について、まず道路改良をしておきたいと思っている。県信連が建物を解体されている時にそういった情報を掴み、まず最初に県信連に、うちの道路に必要な幅分の確保をお願いした。その後、全農さんも売られるということで内部協議をした結果、土地開発基金をもって買おうということになっている。まずは道路計画を我々で立てて、ひいては懸案となっている踏切の改良に繋げていこうと思っている。第一義的には道路用地としてこの土地を確保させていただく。道路が形成・造成された後、残った土地については今後協議して、駅周辺の賑わいということで市長も目標を掲げておられるので、それに資するような扱い方を検討したいと思う。

布施委員長

他に。

(「なし」という声あり)
ないようなので次へ。

(6) その他

広島開拓室長

その他。執行部から何点かあるようなのでお願いします。広島開拓室長。

広島をターゲットにして今後、販路開拓、企業誘致、ポートセールスをやっていくわけだが、今事務所開設に向けて準備中なのでそのご案内を。事務所については広島の中心地、中区立町、合銀広島ビルの6階に事務所を開設させていただく。開所式については6月2日(月)、一部と二部を考えている。参加者については、広島県内の企業様、キーマンになる方、関係者及び浜田市内の企業等で50名を予定。体制は私を含め3名が単身赴任して広島で頑張る形になる。連絡先等は書いてあるとおり。

布施委員長

続いてお願いします。観光交流課長。

観光交流課長

2点ご報告あるいはお願い。1つ目は本市と関わりのある知音都市交流先である長野県中野市において、童謡唱歌のふるさと信州中野アンサンブルフェスというものが開催される。そこに、カチューシャの唄で繋がっている関係から、浜田市から団体名アカペラーズさんが45名参加する。これについて、参加団体への助成ということで考えていて、市から宿泊費の一部を助成する形で1人あたり5千円を助成したいと思っている。中野市ではバスの借上げ、あるいは宿泊費も負担されるということで聞いている。これについては、地域間交流事業の中の予算内で措置させていただきたいと思っている。もう1点、既にご承知置きいただいていると思うが、今現在、浜田のお宝大募集ということで募集を行っている。今日も行政連絡員会議等あるが、そういったところでの呼びかけ等も行っている。一応6月30日まで行っており、このデータ等を活用して今後の観光メニューあるいはコースづくりの素材とさせていただきたいと思っている。また広報5月号では抽選20名の方に、浜田市の共通商品券をお送りするとしていたが、40名に増やしている。これについては6月号でもまたご報告させていただきたいと思っている。こういった取り組みをしているが、簡単に言うと、料理で言うと食材探しとか、そういったイメージだと思う。材料をまず持ってきて、メニューを作っていく、それからコースを作っていくというふうに進めていきたいと思っている。もちろん既存のものもあるが、そういったものとの組み合わせは今後協議して選考していくが、まずは素材となるものを今はこうやって募集している。またこれはどなたでも結構ということで、ひとり何点でも良いとしてやっているのも、もちろん議員の皆様方にもこういったものがあるよというものがあれば、どんどんお出しいただきたいと思っている。

布施委員長

続いてお願いします。水産振興課長。

水産振興課長

資料はないが、現在、地域政策部の地域プロジェクト推進室で取り組んでいる瀬戸ヶ島の埋立地活用基本方針の検討状況について。ロードマップにおいては、瀬戸ヶ島埋立地の活用については、基本方針を今年度末までに決定することになっており、市民の皆様方の期待や関心の高い事業でもあり、議会にも早めに進捗状況を報告したいと考えている。5月末か6月はじめには市民の声を聞くための研究会を組織する予定であり、

プロジェクト推進室で準備を進めているが、現在その点も含めて今後の進め方等について年間スケジュールをペーパーにまとめている段階。従って5月20日の全員協議会の時に、地域プロジェクト推進室からご報告させていただきたいと考えているのでご理解をお願いします。

布施委員長

以上4点報告があったことについて、委員から質問、ご意見等は。飛野委員。

飛野委員

お宝大募集について。6月までということ、今15日、4分の1経過しているが、出足の状況、反響の状況、このお宝の「眠っている」という部分だが、これは応募者の判断に任せているのか。あるいは何か基準があるのか。

布施委員長
観光交流課長

観光交流課長。

現在の状況だが、この5月1日から配布等しているが、現在まだ10件程度とかなり低い。ただ、今から「こんなに出したいが良いか」とかいうような話は聞いている。なので、今からもっともっとPRを、私どもの方でも出かけられるような会合等あったら積極的に配ってお願いしたり、先程も申したような、行政連絡員会議ということで地区も回っているが、そういった所でのPRも進めていきたいと思っている。「眠っているお宝」の判断ということだが、これは飽くまでも個人の主観でも良いと私は思っている。と言うのも、確かに城山であるとか豊ヶ浦とか有名なものもある。ただ、そうではなくて、特に都会の方々から見て「これは面白い」と思われるようなものというのは、多種多様なものがあるかと思っているので、そういったものを参考にしてメニューを作っていきたいと思っている。その基準というのは個人にお任せしている。

布施委員長
飛野委員

飛野委員。

分かった。久保田市長も元気元年、そういう中で、こういうお宝については相当力を入れていかなければいけないという、1つの良い事例だと思う。その中で、滑り出しがもうひとつということだが、あらゆる機会を通じてPRし、こういう元気元年にやろうとしたことが良い形で集計出来ていくようお願いしておきたい。質問から外れるかもしれないが、もう1つのお宝である、浜田の顔とある農産物についても9月を目途ということで、相当推移している。この辺の状況も分かる範囲で。

布施委員長
農林振興課長

農林振興課長。

この項目については3品くらいということで準備を進めている。現在各JAやそういった機関からの情報もいただいて、これから議会が始まるまでに1度は島大等の研究機関にもお願いをしていこうと思う。既存のものを中心とするのか、それとも全く新しいものを作っていくのか検討中だが、夏までには候補を挙げて絞り込みをして、年度末には3品程度のものを作っていきたいというふうには考えて取り組みを進めている。

飛野委員

3品というのは、3品種という1つの方針をお持ちなのか。目安は3品で括っているのか。

布施委員長
農林振興課長

飛野委員、言ってから答弁を貰うように。農林振興課長。

3品程度で。基本的には先程言ったように既存のものもあるし、新たなものもある。色んな産物があるので、1本に絞り込むのは非常に難しいと思うので、そういう方向で取り組みを進めていきたいと思っている。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

広島市場開拓室開所式について。今週は我々議会としても、議会報告会をしている中でこの問題結構出てきている。結構な税金を投入してやるのだから、しっかり議会としてもチェックして、効果のあるものにして欲しいと。市民からの要望も多い。その中で、今回6月2日に開所されてこれからスタートということで、我々も非常に期待しているが、3月議会の中で、山陰方面の企業事情に詳しい嘱託職員の配置ということも言われていたが、この体制の中にそれが書かれてないのでその辺を心配している。状況が分かれば教えて欲しい。

布施委員長
広島開拓室長

広島開拓室長。

コーディネーターの問題だが、一応2名配置することになっているが、人選については非常に難しい。色々情報をいただきながら、現在山陰合銀様、あるいは広島のキーマンになる方にも今回の開所式に来ていただくが、そういった方の情報等もいただきながら、どういった人が私たちと一緒に組んでやっていけるかということ。ロードマップについても1年間でその辺りを見極めながら、例えば常時雇用にするのか、あるいは月1回の情報交換会にさせていただくのか。実際、人の問題というのは一番大きいので、その辺りは慎重にやっていきたいと考えている。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

今検討しているということだが、検討するだけで時間が経ってもロードマップに迫いつかないと思うので、ある程度目途があると思うが、どのくらいを目途にそれを考えているのか。

布施委員長
広島開拓室長

広島開拓室長。

目途はこの開所式が終わって、その中で色々な情報交換を、既にしてはいるのだが何名か名前が挙がっているが、実際この開所式が終わったら早急に、1ヶ月2ヶ月程度のところである程度の目途を付けて、産業経済部の中でも実際に雇用していく方が良いのか、ポイントポイントで情報提供していただいて一緒に活動するのが良いのかというのは、1、2ヶ月の間に決めたいと思っている。

布施委員長
西田委員

その他。西田委員。

浜田のお宝大募集について。目的が「新たな観光コースを作り出す」ということで、お宝は今までに出ているお宝もたくさんあるし、皆さんがご存知ないお宝もあると思うので、お宝大募集はすごく良いことだと思う。ただ、出てきたお宝をどなたがコーディネートして観光コースをお作りになるのか、売り出していかれるのか伺いたい。

布施委員長
観光交流課長

観光交流課長。

まだ具体的な方というのは決めていないが、6月末までというところなので、それまでに例えば、浜田であるとかこちらのことが分かっているような、例えば専門的な知識をお持ちの旅行業の方だとか、あるいは大学関係者、そういった方々にもお入りいただいたり。もっと言えば観光の関係者というと、例えば観光ボランティアガイドの会の方々、そういった方々を今イメージしている。そういった方々の中で出てきたもの、それから今あるものというのを、どういう組み合わせをしたら良いか。組み合わせて、1泊2日のコースであるとか、多種多様な

コースを検討していきたいと思う。それについて、団体向け、個人向け、個人向けの中でも例えば若者向けが良いのか、色んなパターンが出てくると思う。そういった検討委員会と言うか、そういったものを今から立ち上げていきたいと思っている。その中でPRを含めてやっていきたいと思うが、そのPR自体は、どうやってやるかはまだ詳細は決めていないが、1つは先程申した委員の中へ入っていただくような旅行者の皆さん方の意見だとかも聞きながら、作戦を考えていきたいと思っている。

布施委員長
西田委員

西田委員。

この事業の一番のポイントはそこだと思う。今までもずっと、先程の石見空港の利用もそうなのだが、例えば料理で言うと、色んな良い素材がたくさんあっても、地域にシェフがいるのかいないのか。いなかったらどこかから引き抜いてくるとか、そういう具体的なことをやっていかないと、いつまでも検討したり委員会作って話し合っただけで、ずっとそのまま推移していく。そこが一番の、全ての色んな事業もそうなのだが、ポイントだと思う。今までも、例えば観光協会、ツーリズム協議会、ボランティアガイドの会、色んな方々が地域資源を活かして色々結びつけて、何とかしようというグループはたくさんあるから、そういった方々が今までやってきた色んなことを、そこからの積み上げをどうしたら良いか。もう1回ゼロからやるのだったらまたこれも、今までやってきた色んな活動が無くなるから、その辺を本当によく考えてやっていただきたいと思う。また先々一般質問もあるので、よろしく願います。

布施委員長
牛尾昭副委員長

その他。牛尾副委員長。

浜田のお宝大募集について。総論では良いと思うが、今、西田議員が言ったように、プロデューサーがいない。今の話を聞くと、後でどこかから誰か探してきて何とかするんだというようなことで。実は複数の応募の方が困っておられるのは、例えば歴史上のコースを自分でプレゼンしたいのだけど人の土地へ入らなければいけないとか、そういう色んな拘束が出てくるのをどうしたら良いのかと聞いて問われた時に、それはそれでとりあえず出してみてくださいと言うのだけど、先程の話と被るのだが、例えば地元料理を食べて欲しい、これは五地想物語の中でかつてグランプリとか色んなことをやったこともあるし、重なっている、既にそういうことを経過しているという実績のある事業もある。さっきのグリーンツーリズムもそうなのだが、国内観光客をターゲットにした新しい観光コースということで通常認識しているしそれで良いと思うが、何かセクト意識を感じる。今まで色んなところで積み上げてきた実績がある上に新たな観光コースを作るということであれば、今言うようにあちこちの団体から引っ張ってきて新しい観光コースを作ると言うような答弁は無いだろうと思うし。根っこの部分が決まらずで、とりあえず皆さんから募集しますよというような感じがする。この募集では多分応募する方が困っておられるような気がする。私自身も実は応募しようと思っているのだが、非常に曖昧すぎて、企画は悪くないのに市民の方に伝わりにくい印象がある。もう少し一捻りできないのか。宝を色々出してもらってそれをどう組み立てるのは、何人か候補者をとられたがまだそれすら決まっていな。ちょっと失礼ではないか。市長が言うよ

うな元気な浜田の観光コースを新たに作るというのであれば、やはり中心に据える根っこの人材ぐらいは決めて、その中で既存の観光コース以外の、それを上回るような観光コースを作りますよという中でメニューを作っていくなら分かるのだが。それすらまだできてないというのは、集めて一体どうなるのかなというのが不安。アイデアは悪くないけど、プロデューサーがいない感じがする。そうではないかもしれないけど。そういう点で市民への浸透がいまいちなのかなと思う。この事業は、部としてはどうなのか。

布施委員長
産業経済部長

産業経済部長。

これは先程、飛野議員さん、西田議員さん、副委員長それぞれ意見をいただいたところだが、眠っているとかそういった判断も私は全く白紙だと思っていて、私自身も何点か応募したいと思っていることがある。例えば石見豊ヶ浦。これは有名だと言えば有名だが、私にとってはあれはまだ全然日本でメジャーになってないという思いがある。これすら、私としてはぜひ皆さんが行きたいと。これは、今いらっしゃる牛尾昭副委員長が、これは日本一ではないかとかつて言われて、私は看板も作ったことがあって、私自身担当して、まだまだ十分じゃないというところも感じている。そういったところも、全国に打って出られて、見ていただいて本当に勉強に、学習にも役に立つというような思いもある。眠っているという言葉で大変曖昧だということでご迷惑をおかけするが、これは、地域にあると思われているとか、今存在しているとか、何とかの場所だとか、ものだとか、そういった色々な分野があると思うが、そういったものを何とか教えていただきたい、というような本当に素直な気持ちでやったつもり。コーディネート、核になる人がいないじゃないかということは私どもも感じていて、今それも並行して行っている。ただ、今現在、最終的に誰が決めるのかということまで、はっきり言って誰が決めるかといったら、市の事業で市が打って出るわけだから、浜田市として責任をもって決めていく。これだけは言えるのだが、それを参考にする意見。私どもが決めたルートが果たして本当に、来られる方にとって良いルートなのか。選択しも一杯選ばないといけないと思うし、あらゆる角度から検討は進めないといけないと思っているので、今のところ大変申し訳ない、十分な答えになっていないが、全力でコーディネート、決定のプロセス等もお示ししていくようにしたいと思っている。

布施委員長
牛尾昭副委員長

副委員長。

逆に言えば例えば、4人から5人ぐらいのプロデューサーの名前を公表して、この人たちが皆さん方からいただく素材によって新しい観光コースを作るんですという呼びかけであれば、もっと参加しやすい、応募しやすいような気がするので、多分そういうふうに市民の方も思っておられるから問われると思う。だから、問われた時になかなか明確な、今のような部長の答弁をすれば良いのだろうけど、なかなかそこまで答えられないので辛い部分はある。ちなみに言えば千畳苑は世界に類を見ないノジュール群だと。観光地にするなんてとんでもないという、当時の文部省の審議会が言われている。急に思い出した。このぐらいにしておく。

布施委員長

その他。

(「なし」という声あり)

無いようなので、以上で議題1、執行部報告事項は終わります。

2. その他

笹田委員

その他何か。議員、執行部の皆さん。笹田委員。

先程聞けば良かったのだが、長浜西住宅が完成に向かって形が見えてきた。町内について、8の3町内と、新しくどのような町内区分になるのか。周辺の方に訊かれている。コミュニティの関係もある。どういう方向性で町内分けを考えておられるか。

布施委員長
建築住宅課長

建築住宅課長。

町内が新しく出来る団地で80戸なので、イメージ的には別町内になるのではないかと考えているが、まだ決めかねている。皆さん今度、地元との説明会等も、建設状況のこともあるし、その辺もまだアンケート等も取らないといけないのかなとは思っているが、今から決めていく作業。

布施委員長
笹田委員

笹田委員。

分かった。今の状況は認識したが、ただご存知のとおり8の3町内というところは集会所が無い中で、今回あちらに建てられる時に、集会所も利用させてもらうということが多分申合せでやっておられると思う。そういった意味でどういった町内になるのかというのは気にされていると思う。今後できた時に一緒になってやらなければならない部分も一杯あると思うので、早めに方向性を出していただくと住民も安心して住めるのではないかと考える。またアンケート等を取った後に早めにお知らせいただけたらと思う。

布施委員長
牛尾昭副委員長

他に。牛尾昭副委員長。

今年の休漁期にリシップ事業があると聞いている。1ヶ統は福島造船でおやりになるということだが、もう1ヶ統はどうも下関の方だと聞いている。かつて所管委員会では福島造船のリシップの途中経過については日帰りで現地視察をした記憶があるが、下関についてはそういう経験がないので、ぜひ今後のこともあるので執行部におかれては、まだ委員長に相談していなくて急に思ったことなのだが、ぜひ下関におけるリシップの現状を途中で、日帰りでさせていただければと思う。よろしく願います。

布施委員長

2件ほど委員からあったが、執行部におかれても、提案と確認事項とあったので、しっかり次の機会に報告できるようお願いしたいと思う。他、委員から無いか。

(「なし」という声あり)

ないようなので執行部の皆さんご退席されて結構です。長時間ありがとうございました。

[12 時 30 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 布施 賢司 ㊟